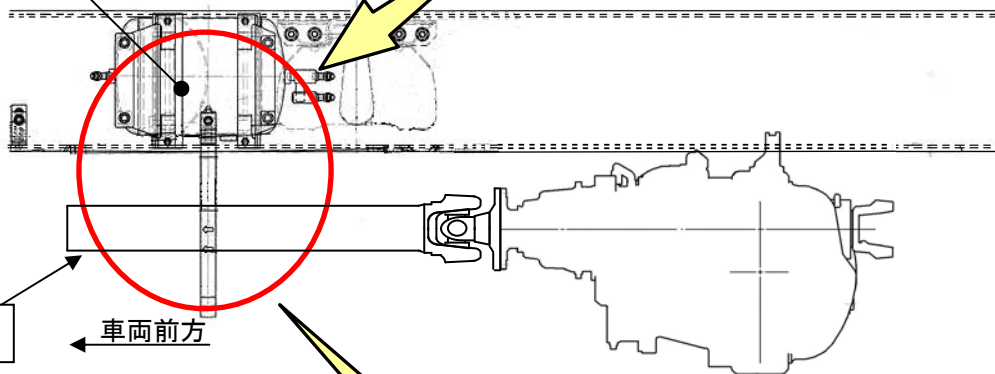


改善箇所説明図



エアタンク

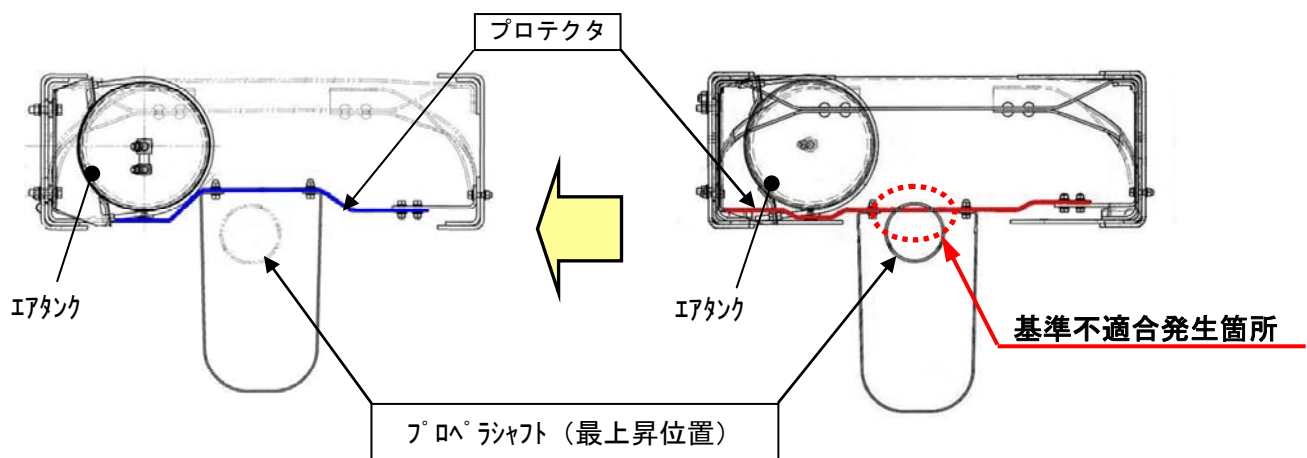


プロペラシャフト

車両前方

《改善後》

《改善前》



不具合箇所断面

エアタンクを移設した車両において、プロペラシャフトとプロテクタ（プロペラシャフトサポートブラケット）との隙間が不適切なため、リヤサスペンションが縮んだ際に干渉する場合があります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、プロペラシャフトが破損し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、プロテクタ（プロペラシャフトサポートブラケット）を対策品に交換する。
また、プロペラシャフトを点検し、プロテクタとの干渉痕がある場合は、プロペラシャフトを新品に交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「HD130」の文字が記載されたシールを貼付ける。